

本書に下記の誤りがございました。下記の通り訂正いたしますとともに、読者の皆様に深くお詫び申し上げます。

p.62 解答 4

誤：×熱伝統率は…

正：×熱伝導率は…

P.79

▶2 気密性能について、下記の通り修正いたします。

住宅性能の……判定式は、

$$C \text{ 値 } [\text{cm}^3/\text{m}^2] = \text{住宅の全部の隙間面積 } [\text{cm}^2] \div \text{気密にする室面積 } [\text{m}^2]$$

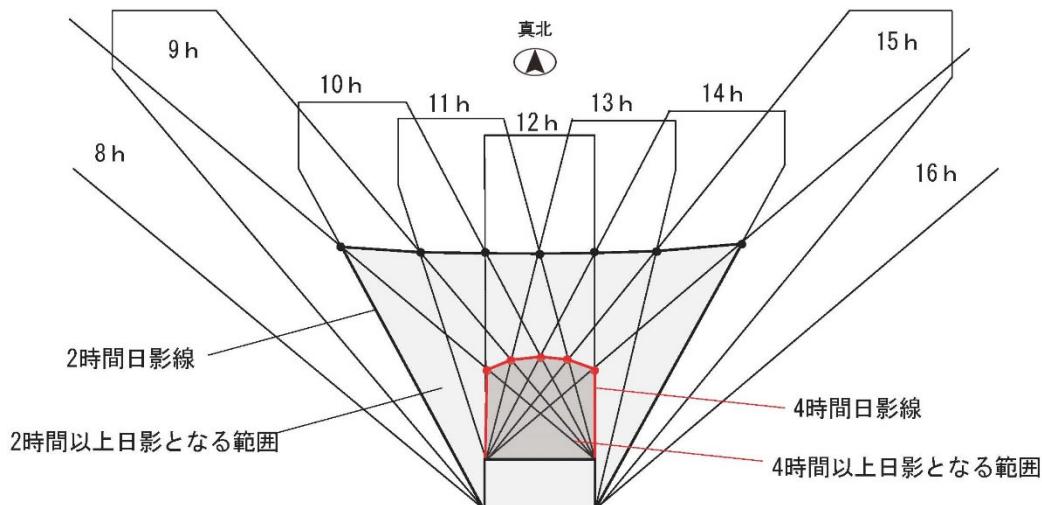
すなわち、C 値の大小で気密性能が判定でき、C 値が低いと気密性が高く、隙間風が少ない高気密住宅とされる。

P.84 第3章 ○×問題 4.

誤：…一酸化炭素は 10ppm 以下である。

正：…一酸化炭素は **6ppm** 以下である。

p.97 図 4.22 n 時間日影の求め方（正しい図は下記の通り）



P.138 右段 4 行目

誤：17. 昼間の直射日光による屋外の平面照度は、約 3,000 lx である。

正：17. 普通の日の屋外の天空光による水平面照度は、約 3,000 lx である。

p.182 表 6.6 タイトル

誤：東京都騒音防止条例（抄）一覧表

正：騒音防止環境基準一覧表

p.195 問題 20

誤：住宅地の騒音は 60～65dB に制限されている。

正：住宅地の騒音の規制基準は 60～65dB である。

p.195 解答 20

誤：×40dB～45dB に制限されている。

正：×40dB～45dB である。

以上